

## 推薦の言葉

今日、日本経済においては、デフレからの脱却と経済の好循環を確実なものとなることが期待されており、その中で、高度化・国際化する我が国経済を支える重要な経済インフラであるオフィスビルは、優れたオフィス環境を提供して関係企業の知的生産向上に貢献することが求められています。

同時に、オフィスビルについては、地域の活性化に向けた都市再生、地域防災力の向上などのほか、地球環境や省エネへの取組みが課題となっています。

こうした中、本連合会は、平成 22 年に「オフィスビル分野における低炭素社会実行計画」を策定し、それに基づき平成 27 年には数値目標の設定を行うなど地球環境保全への貢献に積極的に取り組んでいるところであります。

このほど、公益社団法人ロングライフビル推進協会におかれて、ビルのロングライフ化を目指したビルのライフサイクルマネジメントの取組み方を明らかにする「ビルのライフサイクルマネジメント」を出版されることとなったことは、本連合会の地球環境保全への貢献などに相通ずるものであり、誠に時宜を得たものであり、深く敬意を表する次第であります。

ビルのロングライフ化は、持続可能な社会の実現に寄与するばかりでなく、ビル経営の立場からも、資産を長く保持することにつながり、大変意義深いものであります。しかしながら、実際にビルのロングライフを実現するには、そのライフサイクルにおいてビル経営者がどのように対応していけばいいのか、これまで具体的に示されたものがありませんでした。

本書は、ビルの企画・設計・建設から、運用・維持管理し、最終的に解体されるまでの全ライフサイクルにおける様々な課題にどう対応し、マネジメントしていくべきかを具体的に示しており、多くのビル経営者に重要な情報を提供するものと言って過言ではありません。

本書が、全国のビル経営者の方々のこれからのビル経営に活かされ、それによって地球環境の保全に寄与し、より良きビル経営につながることを期待して、推薦の言葉といたします。

平成 27 年 10 月

一般社団法人日本ビルディング協会連合会  
会長 高木 茂